

## 庭園を一般公開

### ガーデンオープンチャリティー

飯高地区安久山で5月3日～6日、「ガーデンオープンチャリティー」が開かれました。メイン会場となった平山邸には市指定天然記念物の大スダジイがあるほか、ツツジや山野草などが植えられており、庭園と合わせて周辺里山の景色を楽しもうと多くの人を訪れました。なお、同地区の里山は、平成23年度にNHKの「映像に残したい日本の里山100選」に選定されています。



庭園散策を楽しむ来場者たち

## 藤の木に感謝を込めて

### 第13回おせん様のふじ祭り



豊栄地区木積で4月28日～5月12日、第13回おせん様のふじ祭りが開催され、期間中は市内外からたくさんの方が会場を訪れました。この祭りは、箕を考案した加納おせんと材料となる藤の木への感謝、箕づくりの技術を後世に伝えていくために行われているものです。4日のイベントでは、箕づくりの実演や体験、箕を使った米運び競争、芸能発表などが行われ、大きなにぎわいを見せました。

箕づくりの実演と体験コーナー

## 伝統樹芸に感心

### 第7回匝瑳市植木まつり

生涯学習センターで5月3日～5日、第7回匝瑳市植木まつりが開催されました。会場には、市内の植木生産者が丹精を込めて作り上げたマツやツツジのほか、手頃な鉢植木などが展示され、力作ぞろいの植木を買い求める来場者でにぎわいました。また、この催しは共進会も兼ねており、造形、緑化樹、鉢植木の3部門に総数4,200点余りが出品され、その出来を競いました。



多様な植木で彩られた会場

## 境内に響く音色

### 第7回飯高檀林新緑祭



飯高檀林跡で4月28日、7回目を迎えた新緑祭が開かれました。第1幕はジプシー・ヴァイオリンの第一人者・古館由佳子さんによるコンサート、第2幕は市内の弦楽合奏グループ「UFO」によるコンサートが行われ、会場を訪れた人は飯高寺の講堂を舞台に奏でられる美しい音色に聞き入っていました。

ジプシー・ヴァイオリンを演奏する古館由佳子さん

## 春の味覚を満喫

### タケノコ掘り体験

ふれあいパーク八日市場で4月28日、タケノコ掘り体験が行われ、家族連れなど30人が参加しました。市内の竹林に移動した参加者たちは、地面に出た食べごろのタケノコを見つけては悪戦苦闘しながらもスコップで掘り出し、袋いっぱい詰めていました。昼食はタケノコ尽くし料理が振る舞われ、タケノコご飯やみそ汁、煮物など旬の味覚を堪能しました。



タケノコを掘り出す参加者たち



## 目指せプロゴルファー 匝瑳小ゴルフクラブが発足

松山ゴルフクラブで4月22日、匝瑳小学校の児童9人がゴルフの指導を受けました。同校では、今年度からゴルフクラブが発足。地域の教育力を活用しようと、松山ゴルフクラブ支配人の横須賀裕一さんに指導を依頼し、この日初練習が行われました。児童たちは、最初は空振りが目立ちましたが、徐々にボールに当たるようになり、「楽しかった。またやってみよう」と感想を語りました。今後は練習を重ね、コースを回る予定です。

## 身近な生き物にビックリ

### 里山で自然観察会

匝瑳地区宮本で4月21日、市内の身近な自然を再発見してもらおうと、自然観察会が開催されました。

当日は、親子など9人が参加し、八木幸市先生（横芝敬愛高校教諭）、笠原孝夫先生（県立市原八幡高校教諭）の案内で、同地区の里山に生息する「トウキョウサンショウウオ」などの観察を行いました。生息場所に移動する途中では、カエルの卵やイモリの成体を発見することもでき、参加者の皆さんは、「わあっ」「初めて見た」など、普段は見る機会が少ない身近な自然に驚きの声を上げていました。



田んぼで「シユレーゲルアオガエル」の卵を発見

## そろいの半纏で

### 八日市場東照宮例大祭

中央地区万町で5月19日、八日市場東照宮例大祭が行われました。

当日は、初夏を思わせるような晴天。集まった担ぎ手は、皆そろいの半纏を身にまとい東照宮を13時にスタート。地区内を威勢のいいお囃子を先頭に練り歩き、大勢の見物人を魅了していました。



盛り上がりは最高潮に

参加者とともに植樹作業をする太田市長



## 被災したみどりの再生を願って 吉崎浜で復興植樹祭

吉崎海岸で4月24日、海岸林復興植樹祭が開催されました。これは、東日本大震災による津波などで被害を受けた海岸保安林の再生を目指して、市民をはじめ、企業、団体、森林林業関係者など幅広い参加を募って行われたもので、当日はスタッフを含めて100人以上が参加。激励のために駆け付けた太田市長も作業を手伝い、額に汗しながら、クロマツなどの苗木約2,200本を植樹しました。